

あまみ おおしましやうさいあととおよ おおしまぼうびたいあと つけたり おおしまじゆひんしこあと
●各遺跡の概要（国史跡「奄美大島要塞跡及び大島防備隊跡 附 大島需品支庫跡」）

西古見砲台跡（にしこみほうだいあと）

令和5年3月20日指定

西古見砲台跡は瀬戸内町西古見（奄美大島の西端）に所在する遺跡です。

1921（大正10）年に砲台建設が開始され、1940（昭和15）年に28糎榴弾砲が配備されました。

現在、砲座跡4基、砲側庫跡2基、砲台弾薬庫跡、観測所跡2基などが残っています。

第2観測所跡は公園化されており、見学可能です。

観測所跡内部より大島海峡を望むことができ、観測用窓上部壁面には海峡内の島影を精緻に描いた絵図を見ることができます。



※令和5年3月に作成したマップです。



西古見砲台跡（全景）



第2砲座跡・第1砲側庫跡



第2観測所跡



第2観測所跡・観測用窓上部壁絵図